

どんぐりさん 大きくなあれ

布津・文華保育園

【南島原】「子どもの森づくり運動」に参加している南島原市布津町の文華保育園(荒木俊一園長で九日、運動の一環として園児らがプランターで育てた「どんぐりの苗木」を植木鉢に植え替えた。



母親と一緒に苗木を植木鉢に植え替える園児—南島原市布津町

「子どもの森づくり運動」の一環

運動は東京の特定非営利活動法人(NPO法人)「子どもの森づくり推進ネットワーク(清水英二代表理事)」が日本郵政グループ(JP)の協賛を受けて昨年スタートさせた。
ドラマ「北の国から」などで知られる脚本家、倉本聰さんが塾長を務めるNPO法人C・C・C富良野自然塾の「森再生プロジェクト」の活動理念が運動の指針で、変化に富んだ自然体験活動の中で、子どもたちの豊かな感性や生きる力をはぐくむ。
各都道府県からそれぞれ一つの幼稚園または保育

苗木を鉢に植え替え

園を選定(東京は二園)し、本県からは文華保育園が運動に参加した。昨年十月、一年目の活動として園児が同市深江町の「ふかえ桜パーク」でどんぐりを採取し、プランターにまいた。芽を出したどんぐりは、半年をかけて一五センチ程度程度の苗木に成長した。
九日は森林インストラクターの力益貴さん(芸名の指導を受けながら、園児が父母らと一緒に苗木を一本ずつ丁寧に植木鉢に移植した。運動は三年計画。園児が水やりなどをしながら苗木を育て、最終年となる来年、近くの森に植樹する。